

自然観察会（Ⅱ） 2015-7-19(日)

「プロ・ナチュラリスト佐々木洋さんで行く 夏の高尾自然観察」

心配していた台風11号の進路は西にそれてくれたのでイベント日和となりましたが、前日までの雨の

アオバセセリ

影響で沢の水量が増加した為、対岸へ渡っての観察路を散策するルートは中止し、日影沢林道中心の観察会ルートに変更し、観察会を開催し、定員を超える46名の参加がありました。

ラミーカミキリ

日影沢林道入り口での、オープニングでは、①アサギマダラ②ムササビ③テングチョウの3つの班に分け、リーダー、サブリーダーを紹介し観察会を開始。

午前中は、林道入り口～日影沢キャンプ場までの林道約500mを約1時間かけての自然観察。

林道を歩いていると、ピンクの花を付けた野草が、名前は「ハグロソウ」、花びらは2枚で上下に開いて上唇と下唇の様にも見え、花びらに斑点がつ

ハグロソウ

いているので、「お歯黒」の様だからハグロソウと呼ぶとも言われますが、葉が他の葉よりも濃い色（暗い）をしているから葉黒草と名が付いたのが本当の様です。実際に他の葉と比べてみても他の野草も濃い緑をしているので特別に黒いとは思えないですね。野草のそばには、足の長い蜘蛛のような「ザトウムシ」が、前足を触覚の様にして前方を探っている様子が、座頭市が杖をついて歩くのに似ているのでザトウムシと呼ばれています。クモの様な形ですが体が蜘蛛のように頭と胴の間のクビレは無く1体化していて分類上もクモ綱ザトウムシ目に分類されクモ目とは別になっています。宮崎駿のアニメ「千と千尋の神隠し」に出てくる「釜爺」はザトウムシをモデルとだそうです。

キャンプ場に到着し昼食後、午後のテーマは昆虫採集。

参加者に容器と小さな補虫用の網を配って林道沿いを約1時間かけて昆虫採集し、班ごとに集めた昆虫の名前を調べました。

集めて昆虫の中から、各班でベスト3を選出し、各班のリーダーが説明を加え発表をしました。各ベ

スト3の発表の後には、それぞれの班で見つけた昆虫でミニ昆虫展を開き参加者全員で観察をしました。

本日観察した生き物たち（抜粋）

ミスジマイマイ、オオケマイマイ、サワガニ、キマワリ、スミナガシ、ヒシバツタ、フキバツタ、ノギリカミキリ、ラミーカミキリ、ナガゴマフカミキリ、ナミテントウ、ホソハリカメムシ、マルカメムシ、カメムシタケ

アオバセセリ、モンキアゲハ、ヨコツメアオシャク

ヨコツメアオシャク

ドクツルタケ